

虫よけ対策などについてお知らせ

～園の虫よけ対策についてのお願い～

虫よけスプレー

当園では薬のお預かりは、原則、医師が処方したもの（3回服用が必要な場合）になりますので、園で虫よけスプレーはつけません。しかし、蚊などの虫刺されによるアレルギーや感染症がみられたり、かき壊しから‘とびひ’になってしまう季節でもありますので、登園前に使用する際の虫よけスプレーについてお知らせいたします。

- ★「ディート」と呼ばれる成分を使用して作られているスプレーは、とくに乳幼児には使用制限がある等注意が必要といわれています。一方「イカリジン」を使用して作られているスプレーは、副作用や子ども達に制限なく使用することが可能なことから、使用する場合は、「イカリジン」の成分、6～8時間持続するといわれている「有効成分」15%配合がおすすめします。

虫よけパッチ

- ① 1～2枚程度を背中に貼り、パッチには必ず名前を書き、付けて登園する際は朝お知らせください。
- ② かぶれなどの原因にもなりますので、ご家庭で何回か様子を見てからご使用ください。
- ③ 給食後など着替えの際は、パッチをつけたままお返しになりますのでお洗濯などご注意ください。

虫刺されパッチ

虫刺され後、かゆみ止めとして貼るパッチは、落ちていると乳児が口にする危険があるため、園では使用しないでください。

手足につける虫よけリング

虫よけリングはかぶれの原因になり、口に入れたりなめたりする危険があるため、園では使用しないでください。

～虫刺されの対応について～

蚊に刺されてしまったら、刺されたところを水洗いし‘塗り薬（ムヒベビー）’を塗ります。（塗り薬については事前アンケートに従って使用）

その他

熱中症の重要な対策のひとつとして、のどがかわかなくても水分補給はこまめにとっています。保護者の皆様には、お子さんの免疫力を低下させないよう早寝早起きで暑さに負けない体づくり続けましょう。